

A、
B

平成二十七年年度個別学力検査問題(国際資源学部、教育文化学部)

国
語

前期日程

注意事項

- 一 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二 この問題冊子は、六ページあります。解答用紙は一枚です。問題は二題あります。二題すべてに解答しなさい。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 三 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入しなさい。
- 四 解答は、解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 五 配付された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 六 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

— 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

本文省略

(『共用品という思想 デザインの標準化をめざして』後藤芳一・星川安之著による)

問一 傍線部①の「形に見える進化」とはどういうことか、分かりやすく述べなさい。

問二 傍線部②の「追い抜く段階」とはどういうことか、分かりやすく述べなさい。

問三 傍線部③の「ヨコ方向」と同様の内容を述べている箇所を、共用品をめぐる第四の課題について述べている範囲から答えなさい。

問四 傍線部④の「課題」と同様の意味で用いられている漢字二字の言葉がいくつかあるが、その中の二つを、共用品をめぐる第三の課題について述べている範囲から答えなさい。

問五 傍線部⑤に「無意識の領域で不便さ対応を考えている」とあるが、これと同じ意味の叙述を、共用品をめぐる第一の課題について述べている範囲から四十字以内で書き抜きなさい。

問六 傍線部⑥「社会の課題に対して境界線を動かしながら向き合っていく」とはどういうことか、具体的に述べなさい。

問七 本文に述べられている筆者の見解に対するあなたの賛否の立場を明示し、その理由と合わせて二百字以内で述べなさい。

— 1 —
次の①～⑤の傍線のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 旅費をやつとのことで クメン した。
- ② 要求を カンテツ する。
- ③ 法律改正の可能性を シサ する。
- ④ 五十年が経過し、校舎が ロウキユウカ した。
- ⑤ じつと目を コ らして見る。